

<添付資料1：中小規模事業者調査詳細・消費者調査詳細>

■中小規模事業者調査

調査概要

- ・ 調査方法：インターネットリサーチ(調査：ジャストシステム「Fastask」利用)
- ・ 実施期間：2018年9月28日～10月2日
- ・ 調査対象：全国の従業員100人以下の会社経営者、従事者、および個人事業主
- ・ 回答者数：632人
- ・ 集計方法：加重平均集計方法

地域

	n	北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方
総数	632	28	37	203	105	119	40	21	79
(%)	100.0%	4.4%	5.9%	32.1%	16.6%	18.8%	6.3%	3.3%	12.5%

業種

	n	飲食・レストラン	小売り・リテール	美容院・サロン	住宅・修理サービス	イベント・エンタテインメント	タクシー	旅館・ホテル
総数	632	111	111	111	76	99	15	109
(%)	100.0%	17.6%	17.6%	17.6%	12.0%	15.7%	2.4%	17.2%

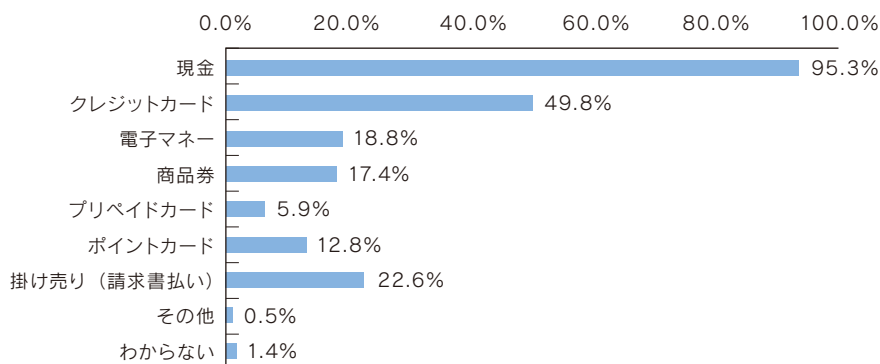
性別・年代

	n	男性 15~19歳	男性 20~29歳	男性 30~39歳	男性 40~49歳	男性 50~59歳	男性 60歳以上	女性 15~19歳	女性 20~29歳	女性 30~39歳	女性 40~49歳	女性 50~59歳	女性 60歳以上
総数	632	0	21	51	118	110	82	0	64	67	62	37	20
(%)	100.0%	0.0%	3.3%	8.1%	18.7%	17.4%	13.0%	0.0%	10.1%	10.6%	9.8%	5.9%	3.2%

調査結果詳細

- 中小規模事業者の間で最も広く受け入れられている決済方法は、「現金」(95.3%)で、次の「クレジットカード」(49.8%)は約5割にとどまっている。

Q1 あなたのお勤め先で受付可能な決済方法を以下よりお選びください。(n=632、複数回答可)



- 年間約147時間を現金集計や銀行への入金に使っており、そのコストは約8,861億円。

- ▶ 1週間に2.8時間、年間146.8時間(1年=52.143週)
 - ・ 現金集計にかかる時間：週に1.75時間
 - ・ 銀行への入金にかかる時間：週に1.06時間

Q2 あなたのお勤め先は、1週間に何回くらい現金を集計していますか。

	n	1~3回	4~5回	6~7回	8~9回	10回以上	1週間に1回未満	なし	わからない
総数	632	134	62	254	18	63	25	16	60
(%)	100.0%	21.2%	9.8%	40.2%	2.8%	10.0%	4.0%	2.5%	9.5%

Q3 あなたのお勤め先で現金集計にかかる時間は、1回あたり平均してどれくらいですか。

	n	15分未満	15～30分	31～45分	46～60分	61分以上	わからない
総数	556	251	172	49	27	12	45
(%)	100.0%	45.1%	30.9%	8.8%	4.9%	2.2%	8.1%

Q4 あなたのお勤め先は、1週間に何回くらい銀行に入金しますか。

	n	1～3回	4～5回	6～7回	8～9回	10回以上	1週間に1回未満	なし	わからない
総数	632	195	74	72	14	9	98	45	125
(%)	100.0%	30.9%	11.7%	11.4%	2.2%	1.4%	15.5%	7.1%	19.8%

Q5 あなたのお勤め先では、1回あたり平均して銀行の入金にかかる時間はどのくらいですか。銀行までの往復時間を含めてお答えください。

	n	15分未満	15～30分	31～45分	46～60分	61分以上	わからない
総数	462	199	152	55	32	4	20
(%)	100.0%	43.1%	32.9%	11.9%	6.9%	0.9%	4.3%

※中小規模事業者が現金集計および銀行入金に費やす時間(年間146.8時間)を、中小規模事業者の平均的な時給(小規模事業者は1,564円、中規模事業者は1,706円*1)と事業者数(小規模事業者:325.2万社、中規模事業者:55.7万社*2)で乗じると、年間の現金管理コストは約8,861億円に上る。なお、1年は52.143週として計算した。

*1 平成26年賃金構造基本統計調査の概況 <https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/chingin/kouzou/z2014/dl/14.pdf>

*2 平成27年度(2015年度)の中小企業の動向:2016年版中小企業白書

http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/H28/h28/html/b1_2_1_1.html

- 現金を引き出すために支払っている時間外手数料の平均金額は、年間平均29,151円。中小規模事業者の24.2%が時間外手数料のかかるATMを利用していることから、中小規模事業者にかかるコストは年間268億円となる。

- ▶ 現金を引き出すために銀行の時間外手数料を払うことがあると回答した人は全体の24.2%おり、平均して週に3.5回利用していた。銀行の時間外手数料は、1回につき108円～216円であることから、年間平均29,151円支払っている計算となる。

Q7 あなたのお勤め先では、接客や業務に使う現金を引き出すため、時間外ATMなど銀行の手数料を1週間に何回くらい払いますか。

	n	1～3回	4～5回	6～7回	8～9回	10回以上	なし	わからない
総数	632	93	37	14	5	4	335	144
(%)	100.0%	14.7%	5.9%	2.2%	0.8%	0.6%	53.0%	22.8%

- 盗難や身の危険を感じると回答した人(約23.7%)vs.身の危険を感じないと回答した人(約54.6%)と、「身の危険を感じない」と回答した人の方が多く、「金庫を設置している」(40.7%)や「警備会社を利用している」(26.4%)など、何らかの防犯対策をとっている人が5割以上。

Q8 あなたのお勤め先で現金を扱うことで、盗難や身の危険を感じますか。

	n	まったく感じない	あまり感じない	どちらともいえない	やや感じる	とても感じる
総数	632	110	235	137	118	32
(%)	100.0%	17.4%	37.2%	21.7%	18.7%	5.1%

Q9 あなたのお勤め先で接客や業務に必要な現金を守るために、防犯対策としてどのようなことをしていますか。(複数回答)

	n	警備会社と契約している	金庫を設置している	夜間金庫を利用している	その他	何もしていない	わからない
総数	632	167	257	36	14	233	53
(%)	100.0%	26.4%	40.7%	5.7%	2.2%	36.9%	8.4%

- お客様に日頃接している従業員の方が、経営者に比べ、現金以外のニーズを感じ取っていることが判明。特に、クレジットカードの需要については、従業員と経営者に 15.7 ポイントも認識のギャップがあった。

Q10 お勤め先のお客さまが好む支払い方法を教えてください。(オンラインショッピングを除く)(複数回答)

	n	現金	クレジットカード	電子マネー	商品券	プリペイドカード	ポイントカード	掛け売り(請求書払い)	その他	わからない
全体	632	80.7%	48.9%	12.8%	7.0%	4.0%	6.6%	16.0%	0.5%	5.5%
経営者	243	82.7%	39.1%	10.3%	8.2%	4.1%	5.3%	20.6%	0.0%	4.1%
従業員	374	79.1%	54.8%	14.2%	6.4%	4.0%	7.5%	13.1%	0.5%	6.7%
その他	15	86.7%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	6.7%	13.3%	6.7%	0.0%

- 中小規模事業者の 3.3% が、1 年以内に現金を取り扱わなくなる可能性がある」と回答。
 - ▶ 全体の 3.3% は 1 年以内に現金を取り扱わなくなると回答しており、これは日本の中小規模事業者数で換算すると 125,697 社にあたる。また、全体の 38.2% は、いつかは現金を取り扱わなくなると回答している。なお、オーストラリアでは約 10% が 1 年以内に現金を取り扱わなくなると回答している。(別添 Square オーストラリア法人報道資料を参照)
 - ▶ ただし、日本でもわずかに世代間ギャップがでており、20 代の約 8.2% が 1 年以内に自分が関わる職場やビジネスで現金の取り扱いがなくなると思っている。また、20 代の半数以上(56.4%) が、いつかは現金を取り扱わなくなると回答しているのに対し、40 代以上の約半数は「永遠に現金の取り扱いがなくなることはない」と回答している。

Q11 今後、あなたのお勤め先のビジネスでは、何年後くらいに現金の取り扱いがなくなると思っていますか。

	n	1年以内	2~5年以内	5年以内合計	6~10年以内	10年以内合計	11年後以降	いつかは取り扱わなくなる(合計)	永久にない(現金の取り扱いがなくなることはない)	わからない
全体	632	3.3%	8.9%	12.2%	9.2%	21.4%	4.6%	38.2%	44.8%	29.3%
年齢	20歳~29歳	8.2%	9.4%	17.6%	14.1%	31.7%	7.1%	56.4%	38.8%	22.4%
	30歳~39歳	5.1%	11.9%	17.0%	13.6%	30.6%	1.7%	49.3%	28.8%	39.0%
	40歳~49歳	2.2%	6.7%	8.9%	7.2%	16.1%	6.1%	31.1%	54.4%	23.3%
	50歳~59歳	1.4%	8.8%	10.2%	5.4%	15.6%	4.8%	30.6%	48.3%	31.3%
	60歳以上	2.0%	8.8%	10.8%	8.8%	19.6%	2.9%	33.3%	46.1%	31.4%

- 2020 年のインバウンド需要増に向けた対策で優先順位が高いのは、「Wi-Fi 対応」(65.6%) と「防犯対策」(60.4%) だが、キャッシュレスについても 42.6% は対策の必要性を感じている。
 - ▶ 「Wi-Fi 対応」については、34.8% が既に対策をとっていると回答している一方、「キャッシュレス」については、計 48.8% が必要性を感じているものの、既に対策をとっていると回答した人は 6.2%、「多言語対応」についても、計 48.4% が必要性を感じているが、9.0% しか現時点で対策をとっていない。

Q12-1 2020 年のインバウンド需要増に向けて、あなたのお勤め先での対策についてお答えください。

	n	まだ対策をとっておらず、考えている	まだ対策をとっておらず、少し考えている	まだ対策をとっていないが、あまり考えていない	まだ対策をとっていないが、全く考えていない	すでに対策をとっている
人材雇用	632	28.5%	13.0%	20.6%	28.5%	9.5%
キャッシュレス	632	26.1%	16.5%	20.7%	30.5%	6.2%
多言語対応	632	23.6%	15.8%	22.0%	29.6%	9.0%
Wi-Fi対応	632	18.5%	12.3%	14.6%	19.8%	34.8%
防犯対策	632	20.1%	19.6%	18.7%	20.9%	20.7%
その他	632	25.6%	12.2%	22.9%	30.1%	9.2%

■ 消費者調査

調査概要

- 調査方法：インターネットリサーチ(調査：ジャストシステム「Fastask」利用)
- 実施期間：2018年10月1日～10月2日
- 調査対象：全国の20歳以上の男女
- 回答者数：1,464人

性別・年代

	n	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
全体	1464	244	244	244	244	244	244
男性	732	122	122	122	122	122	122
女性	732	122	122	122	122	122	122

地域

	n	北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方
総数	1464	63	69	579	210	326	79	29	109
(%)	100.0%	4.3%	4.7%	39.5%	14.3%	22.3%	5.4%	2.0%	7.4%

調査結果詳細

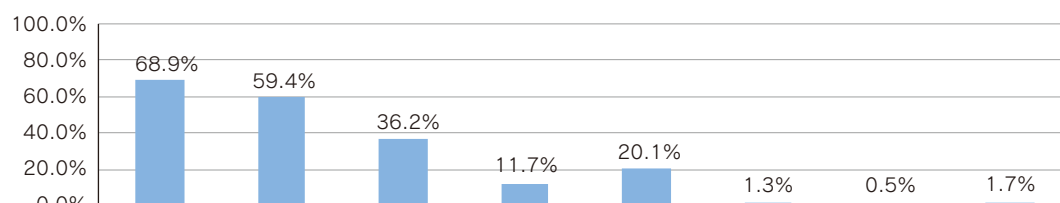
- 買い物をする時の支払い方法では、日本の消費者は現金派とカード派がほぼ半々。

- ▶ オーストラリアでは、消費者の30%が「常にクレジットカードやデビットカードなどで支払う」と回答しているのに対し、日本では13.3%。また、オーストラリアでは、たったの4%が「常に現金で支払っている」と回答しているのに対し、日本では12.0%。中でも、特に20代と60代以上で現金の利用が多い。(別添 Square オーストラリア法人報道資料を参照)

Q1 あなたがふだん買い物をするときの支払い方法について、最もあてはまるものをお選びください。

		n	常にデビットカードやクレジットカード、電子マネーなど、現金以外で支払っている。	ほとんどの場合、デビットカードやクレジットカード、電子マネーなど、現金以外で支払っている。	ほとんどの場合、現金で支払っている。	常に現金で支払っている。	その他	現金以外	主に現金
総数		1464	195	505	575	176	13	700	751
		(%)	13.3%	34.5%	39.3%	12.0%	0.9%	48%	51%
年齢	20代	244	16.4%	23.8%	41.8%	18.0%	0.0%		
	30代	244	16.0%	37.3%	29.1%	16.8%	0.8%		
	40代	244	16.4%	35.2%	39.3%	8.6%	0.4%		
	50代	244	13.1%	39.8%	36.9%	8.6%	1.6%		
	60代	244	9.8%	38.1%	42.6%	8.6%	0.8%		
	70代	244	8.2%	32.8%	45.9%	11.5%	1.6%		

- 支払い方法で最も多いのは現金(68.9%)だが、クレジットカード払いを望む人も約6割(59.4%)いるほか、電子マネー払い(36.2%)やポイントカード払い(20.1%)など、現金以外での支払い方法が望まれている。

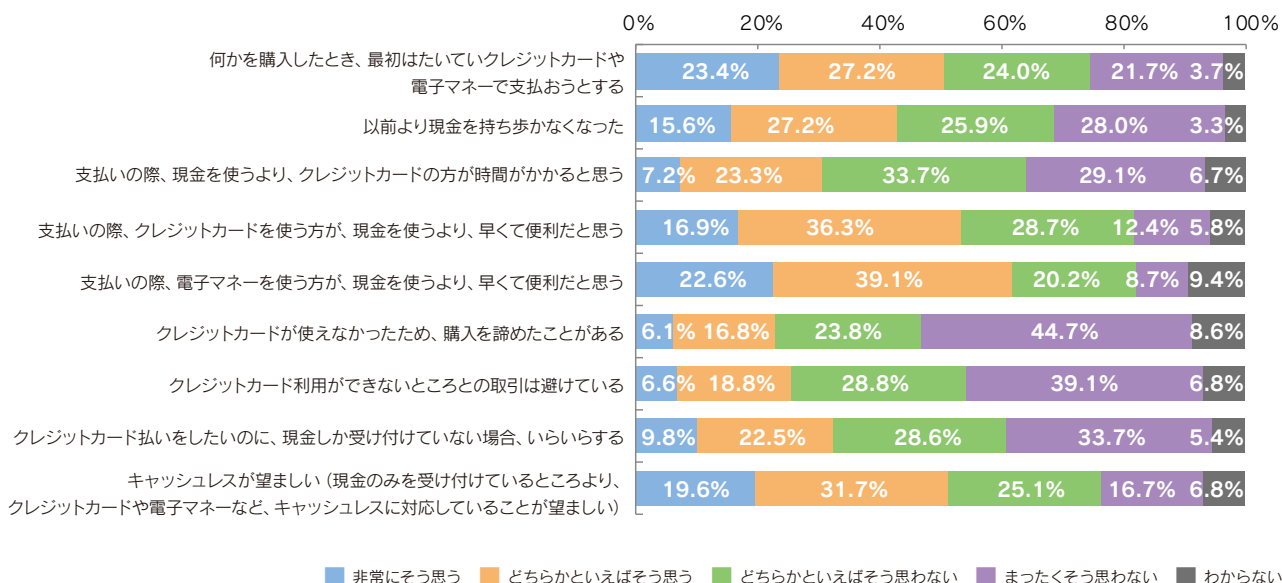


Q2 (オンラインでなく、対面で支払う場合) 通常、あなたは以下のどの方法で支払いたいですか。(複数回答)

	n	現金	クレジットカード	電子マネー	プリペイドカード	ポイントカード	請求書払い、ツケ払い	その他	わからない
全体	1464	68.9%	59.4%	36.2%	11.7%	20.1%	1.3%	0.5%	1.7%

- 日本の消費者全体の 22.9%が、クレジットカードが利用できなかったために購入を諦めたことがあると回答。キャッシュレスに対応していないと機会損失につながる可能性が高い。

Q3 支払い方法について、あなたにあてはまるものをそれぞれお選びください。(n=1464)



- 日本人が持ち歩く現金の平均は 17,879 円で、オーストラリア(60ドルAUD、日本円で約 4,800 円)の 3 倍以上。
 - ▶ オーストラリアでは 10 人に一人しか 150 ドル AUD(約 12,000 円)以上を持ち歩かないのに対し、日本では平均 17,879 円、全体の約 48.1% が 10,000 円以上持ち歩いている。また、オーストラリアでは全体の 14% が現金を全く持ち歩かないのに対し、日本では 1,000 円未満を持ち歩いている人は 3.1% しかいない。(別添 Square オーストラリア法人報道資料を参照)

Q4 あなたは、いま現金をいくら持ち歩いていますか。

	n	1,000円未満	1,000円～5,000円未満	5,000円～10,000円未満	10,000円～20,000円未満	20,000円～30,000円未満	30,000円～40,000円未満	40,000円～50,000円未満	50,000円～100,000円未満	100,000円以上	わからない
(%)	100.0%	3.1%	17.5%	26.4%	21.9%	12.6%	4.8%	3.9%	3.0%	1.9%	5.0%

- 日本の消費者の方が現金への依存度は高いが、クレジットカードや電子マネーなどの保有率で見るとオーストラリアと変わらない。(別添 Square オーストラリア法人報道資料を参照)

Q5 以下のカード・電子マネーについて、何枚・何種類ずつ持ち歩いていますか。

	n	1枚・種類	2枚・種類	3枚・種類	4枚・種類	5枚・種類	6枚・種類	7枚・種類以上	持ち歩かない・使っていない
クレジットカード	1464	21.4%	25.0%	18.1%	9.4%	6.4%	1.6%	2.5%	15.7%
デビットカード	1464	13.3%	4.7%	1.9%	1.6%	0.7%	0.4%	0.3%	77.1%
電子マネー	1464	32.7%	19.8%	9.2%	3.3%	1.1%	0.5%	0.3%	33.0%
プリペイドカード	1464	19.7%	7.8%	2.1%	1.9%	1.2%	0.3%	0.5%	66.5%
QRコード	1464	5.3%	1.4%	1.4%	1.6%	0.8%	0.5%	0.5%	88.6%

- 日本では、約 5 割が 1 週間経たないうちに ATM に行つたと回答している一方、約 4 割は 1 週間以上 ATM に行っていないと回答している。

Q6 あなたが直近で ATM を訪れたのはいつですか？

	n	今日	昨日	2～6日前	1～2週間前	3～4週間前	5～6週間前	7～8週間前	2か月より前	覚えていない	ATMは使わない
(%)	100.0%	11.3%	11.0%	26.1%	20.1%	10.3%	3.1%	2.0%	5.2%	6.5%	4.4%

以上